



日本最大のスポーツ・健康施設活性化のための専門展・カンファレンス

スポルテック
SPORTEC 2014

健康維持・競技力向上に向けた食品・飲料・サプリメント・素材専門展

SPORTS FOOD EXPO

「日本を健康にする！」研究会 パビリオン&セミナー 開催報告書



来場者状況

スポーツに関する総合展示会 SPORTEC2014 ヘルス&スポーツフードEXPO2014

会期：2014年12月4日（木）～6日（土）
会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール
主催：SPORTEC実行委員会／HSF実行委員会
特別協力：
公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会
一般社団法人日本フィットネス産業協会（FIA）
公益財団法人日本体育施設協会

■来場者内訳 ※（）内は前年数字

	12/4(木)	12/5(金)	12/6(土)	合計
スポーツ業界関係者 一般入場者	10,526名 (9,311名)	11,337名 (11,382名)	10,113名 (10,144名)	31,976名 (30,837名)
VIP入場者	730名 (698名)	497名 (411名)	135名 (128名)	1,362名 (1,237名)
報道関係者	82名 (81名)	53名 (89名)	16名 (15名)	151名 (185名)
合計	11,338名 (10,090名)	11,887名 (11,882名)	10,264名 (10,287名)	33,489名 (32,259名)

※上記来場者数に出展社バッジでの入場者、再入場者は含まれません。



「日本を健康にする！」研究会パビリオン 風景



ご協賛企業（ブース、ビュッフェ、商品協賛含む）



アタプトゲン製菓株式会社

Lonza



ヒト試験・臨床試験





パビリオン&セミナー 風景





講演① 「スポーツパフォーマンス向上のための栄養学」

太田 篤胤氏

城西国際大学薬学部教授（大学院研究科長）、博士（農学）

当研究会理事でもある太田先生からは、情報の信頼性を得るためにはエビデンスの有無だけでなく、その背景まで読み解く力が重要であると解説。また、疲労蓄積回避とパフォーマンス向上について、通常の食事との相違やポイント等についてご説明頂いた。さらに、メーカー側、消費者側、各々の視点からお話を頂いた。



講演② 「高齢化社会におけるスポーツプロテインの役割と可能性」

松田 俊一氏

フォンテラジャパン株式会社 営業本部 技術・開発部 ビジネスデベロップメント マネージャー
当研究会法人会員様でもある「フォンテラジャパン株式会社」の松田先生からは、タンパク質の種類や有用性、また、ニュージーランドを拠点とする世界最大の乳製品メーカーとして乳タンパクについてのお話を頂いた。さらにホエイタンパクの数々の事例やエビデンスについてもご紹介頂き、タンパク製品について消費者への有用な伝え方、また、タンパク製品が期待される今後の展望についてもお話を頂いた。

- 日時：2014年12/4（木）10:30-12:00
- 会場：東京ビッグサイト内 会議棟 会場K
- 主催：「日本を健康にする！」研究会
- 共催：フォンテラジャパン株式会社
- 参加者数：86名（関係者除く）



「日本を健康にする！」研究会 セミナー2/3



講演③ 「今後、必要とされるヘルスフード」

矢澤 一良氏

早稲田大学 ナノ理工学研究機構 規範科学総合研究所 ヘルスフード科学部門研究院 教授

当研究会会長である矢澤先生からは、日本の現況、メーカーの動き、国の施策、食品の機能性表示の方向性等、様々な視点からお話を頂いた。ヘルスフードの要件や分類に加え、それを消費者にどのように伝えるかという観点からも解説を頂いた。さらに、食育への新たな提言として、健康長寿を支える「機能性おやつ」についても述べられた。



講演④ 「加熱乳酸菌（バイオジェニックス）の有用性」

菅 辰彦氏

バイオジェニックス連絡協議会議長 農学博士 有限会社バイオ研代表取締役

当研究会法人会員様でもある「バイオジェニックス連絡協議会」の菅先生からは、従来には無かった加熱乳酸菌（バイオジェニックス）の有用性について解説頂いた。また、乳酸菌について世間で大きく誤解されている事柄や、「ナノ型乳酸菌」についてなど、様々な視点からご紹介頂いた。

- 日時：2014年12/4（木）12:30-14:00
- 会場：東京ビッグサイト内 会議棟 会場K
- 主催：「日本を健康にする！」研究会
- 共催：株式会社プロマ研究所
- 参加者数：64名（関係者除く）





講演⑤ 「新機能性表示で変わるヘルス & スポーツフーズ」

森下 竜一氏

大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授

当研究会理事でもある森下先生からは、健康食品業界の利用実態から規制改革会議における検討状況までお話頂いた。現状での企業が留意すべきポイントや実際の表示例など具体例に即して、説明頂いた。また、抗加齢医学会データブックや米国のDSHEA以降の市場の拡大例などもご紹介頂いた。



講演⑥ 「機能性表示制度スタートに向けて」

武田 猛氏

株式会社グローバルニュートリショングループ 代表取締役

当研究会幹事でもある武田先生からは、機能性表示制度スタートにあたって、新制度の位置づけ、メリット・デメリット、具体的な表示についてお話頂いた。また、米国DSHEAの機能性表示例、日米の健康食品市場・商品・販売チャネル、新機能性表示スタート後の想定されるシナリオについても言及された。

- 日時：2014年12/5（金）10:30-12:00
- 会場：東京ビッグサイト内 会議棟 会場J
- 主催：「日本を健康にする！」研究会
- 参加者数：40名（関係者除く）





2015年1月以降の活動予定

日程	タイトル	セミナー・展示会内容	対象者	参加者	会場
2015年 2月19日	関西シンポジウム2015 ★協賛有	「新・機能性表示制度にむけた機能性食品 の研究開発戦略」	栄養士 企業	144名 予定	大阪大学 中ノ島 センター 佐治敬 三メモリアルホー ル
4月21日、 22日	健食原料・素材・OEM展2015	未定	企業	10,000名 予定	東京国際フォーラ ム ガラス棟G
5月20日～ 22日	ifia/HFE JAPAN2015 ★協賛有	機能性おやつパビリオン	栄養士 企業	34,000名 (来場全体目標)	東京ビッグサイト 西1・2ホール&アト リウム／会議棟
6～7月頃	第6回 シンポジウム (理事会・懇親会同時開催) ★協賛有	未定	栄養士 企業	150名 予定	場所未定
7月28日 ～30日	ヘルス＆スポーツフードEXP02015 ※SPORTEC2015、ホームヘルス＆ダ イエットEXP02015同時開催 ★協賛有	スポーツ・ヘルスフードに関する パビリオン設置&セミナーを開催予定	栄養士 企業 スポーツ業界 関係者	35,000名 (来場全体目標)	東京ビッグサイト 東5・6ホール

ifia2015/HFE2015 機能性おやつパビリオン 個別ブース出展企業受付中

食品原料・素材関連企業と食品メーカーのマッチングの場として
400社以上の食品メーカーが出展する、満足度の高い展示会です。
個別ブースは、ご用意しているブース数に達し次第、受付終了となります。

